

# 第14回 FD Café を開催しました 「授業外の学修について話をしよう！ ～教職員 & 学生懇談会～」

6月18日（月）「授業外の学修について話をしよう！」をテーマに、第14回 FD Café を E棟3階 FD セミナー室にて開催いたしました。



アクティブ・ラーニング（以下、AL）型授業では、学びを深めるため事前に講義内容の理解やディスカッションを行うためのリサーチなど授業外学修の重要性が高くなっています。

今回の FD Café では、情報工学科 山澤一誠教授をファシリテーターとして、教員 9 名、学生 8 名、職員 12 名の合計 29 名が集まり、学生が授業外学修の重要性をどう捉え、どう取り組んでいるのか、学生と教職員との相互理解を深め、本学の AL 型を中心とした授業のあるべき展開を模索するため意見交換を行いました。

教育技術開発 WG 長の松尾教授から、本日のテーマについての講話の後、グループワークに先立ち学生 FD（FIT-join）代表の豊福慶大さん（情報工学科 4 年）の進行で、アイスブレイクとして、学生と教職員のグループ内で自己紹介が行われ、固かった空気は一気にほぐれました。

本題では、山澤教授から授業外学修の「位置づけ・目的」、授業外学修について「する理由・しない理由」、FD として「授業の改善（教員側）・その他の改善（学生・大学設備）」についてそれぞれグループでディスカッションし、グループごとの発表と全体での質疑応答が行われました。

発表を受け、山澤教授から教員側として特に大切に思うことは『学生の心構え（マインドセット）の変革』であり、授業がおもしろい、役に立つと思うことができたら成功ではないか。そのためには、授業の目的を常々伝えることや宿題やレポートをどこまでやればよいのか明確なハードル設定をすることが必要ではないか、AL 型授業とこの心構えの変革の接点について、引き続き教職員や学生と検討していきたいとの感想が述べられました。



最後に、FD 推進室の長谷川次長から、「AL 型授業推進の目的に『能動的な学習態度の涵養』を掲げているように、自分で主体的に学ぶというマインドセットを学生が得られればと思っている。今回の懇談会を一つの契機として、多くの学生に授業外学修の真の意味を伝え、環境を整えていければと考えている。」との感想があり、ファシリテーターへの謝辞が述べられ、予定時間いっぱいでの閉会となりました。

（FD 推進室）

※学生 FD スタッフ（FIT-join）とは、本学が取り組む教育改善活動に学生としての立場・視点から参画し、より効果的な取り組みとなるよう教職員と共に活動しているメンバーです。

※本件の詳細は <http://www.fit.ac.jp/ap/news/archives/27> をご参照ください。

掲示期間 H-30-064  
 6月27日～7月17日

この件のお問い合わせは広報課へ